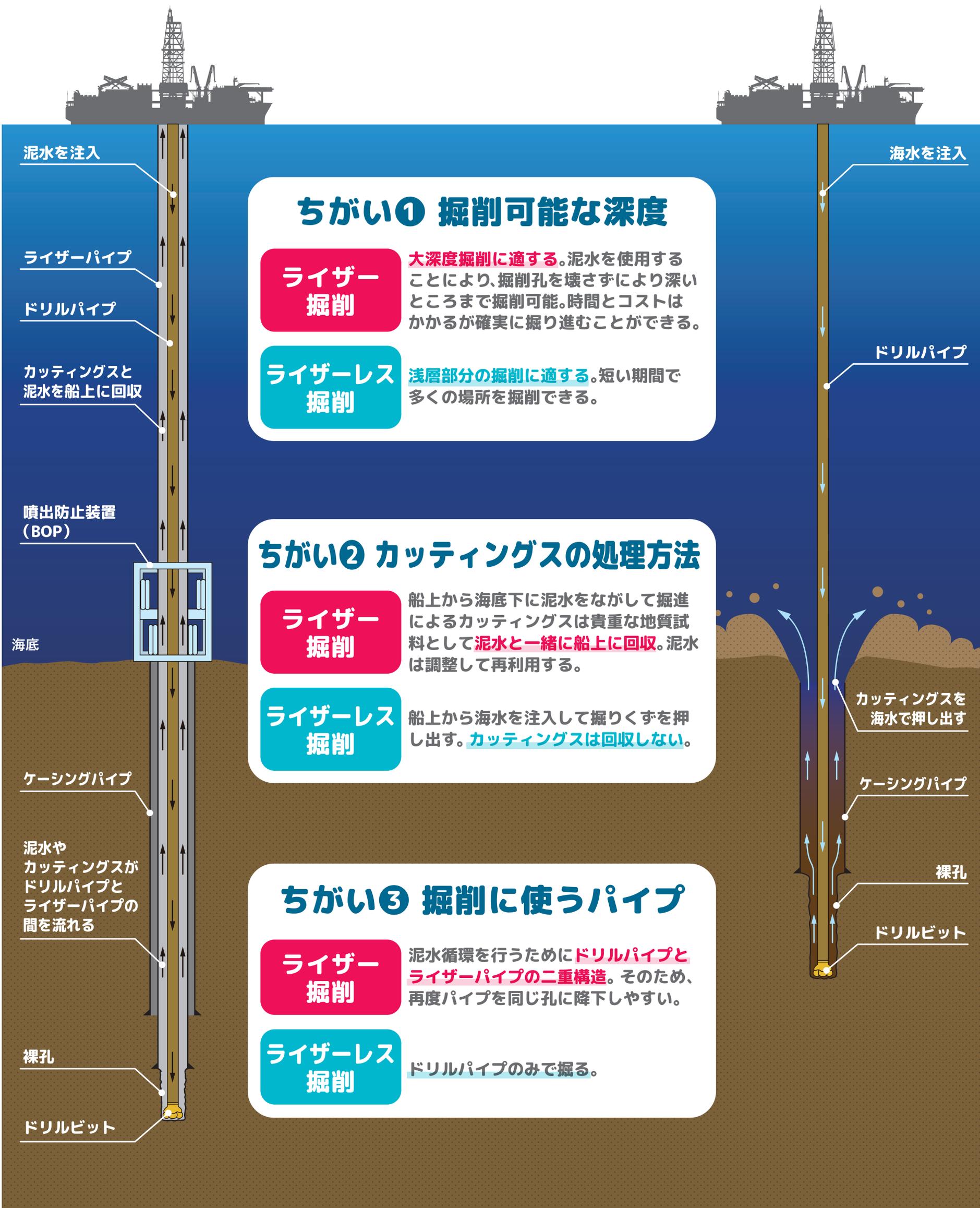


# ライザー掘削とライザーレス掘削のちがい

## ライザー掘削

## ライザーレス掘削



### ちがい① 掘削可能な深度

**ライザー掘削** 大深度掘削に適する。泥水を使用することにより、掘削孔を壊さずにより深いところまで掘削可能。時間とコストはかかるが確実に掘り進むことができる。

**ライザーレス掘削** 浅層部分の掘削に適する。短い期間で多くの場所を掘削できる。

### ちがい② カッタースの処理方法

**ライザー掘削** 船上から海底下に泥水をながして掘進によるカッタースは貴重な地質試料として泥水と一緒に船上に回収。泥水は調整して再利用する。

**ライザーレス掘削** 船上から海水を注入して掘りくずを押し出す。カッタースは回収しない。

### ちがい③ 掘削に使うパイプ

**ライザー掘削** 泥水循環を行うためにドリルパイプとライザーパイプの二重構造。そのため、再度パイプを同じ孔に降下しやすい。

**ライザーレス掘削** ドリルパイプのみで掘る。